

## 第17期 第1回小平市緑化推進委員会 会議要旨

- 開催日時 令和2年9月30日（水）午後6時30分～午後8時30分
- 開催場所 小平市役所 5階 501会議室
- 出席者 椎名委員、山田委員、小川委員、市川委員、船津委員、白井委員、八田委員、粕谷委員、菊地委員、塩島委員、中村委員、米山委員、和田委員（順不同）
- 傍聴人 なし
- 議題 第17期小平市緑化推進委員会の検討課題について
- 配付資料 (1) 第17期第1回小平市緑化推進委員会次第  
(2) 第17期小平市緑化推進委員名簿（資料1）  
(3) 小平市緑化推進委員会設置要綱（資料2）  
(4) (仮称) 小平市第三次みどりの基本計画（素案 たたき台）（資料3）  
(5) 過去の提言書について（資料4）  
(6) 小平市緑化推進委員会第13期～第16期提言書（資料5～8）

### 会議の要旨

- 委員長の選出  
委員の互選により、椎名 豊勝氏に決定した。
- 副委員長の選出  
委員の互選により、山田 眞久氏に決定した。
- (仮称) 小平市第三次みどりの基本計画（素案 たたき台）について  
事務局より資料3「(仮称) 小平市第三次みどりの基本計画（素案 たたき台）」を配布し、各委員に対して令和2年10月2日（金）まで意見等の募集を行った。また、今後、素案及び完成の際には再度報告する旨を説明した。
- 第17期小平市緑化推進委員会の検討課題について

### 委員長

第17期の緑化推進委員会の進め方として、前半の4回から5回までで意見を出し合い、後半の3回から4回までで意見をまとめていく作業を行おうと考える。これまで各期におい

て、第1回と第2回については各委員の意見や理想の形、具体的な要望などを出し合っている。今期についても、その意見等を論議や協議した結果で項目をまとめ、提言書として進めていく。

まずは、各委員の皆様から自由なご意見を出して頂いて、日頃感じている緑に関する事について、お一人ずつお話を頂きたい。

## 委員

これまでありとあらゆる事が検討されており、新しいものを検討するのに難しさはあると思う。

緊急性の有するもの、今、手を付けなければ失われてしまうようなものを早い段階から検討したいと考える。例えば近年発生しているナラ枯れについて。予算を必要とすることであるが、今、対応しなければ危険があると感じる。早く対応して焼却処分が必要と考えている。

農業に関しては、産業振興課やJAなどで対応しており、また、市民サービスにつながりにくいということもあり、提言という形で踏み込むのはなかなかできないと思われる。

## 委員

ナラ枯れについて、市のほうも検討課題として対応していると思う。

私に関わり管理している雑木林において、8月時点で150本近くがその影響を受けている。

枯れてしまった木を伐採した後、雑木林を維持するためにどうするかといったことを考えることが必要である。

7年ほど前から小平では、どんぐりの里親制度というプロジェクトがあり、伐採後に植える新しい木として、小学生に苗木を育ててもらう活動をしている。こういった具体的な活動を考えていけばいいのではないかと。

## 委員長

ナラ枯れは去年から多くなっており、どれくらい枯れているか調べたいと思っている。実態を見る必要があり、報告書になんらかの見解を載せなければならないと個人的には考えている。緊急性もあるため、緑化推進委員会としてナラ枯れの被害数や、どのような状況か、どうしたらいいのかなど盛り込んでいくのも必要かと思う。

その他、意見はないか。

## 委員

水が緑のおおもととなっている。用水路では、水の絶対量が少なく、市内全域に流すことはできない状況であると思う。しかし、近年、水量の問題もだんだんと改善されて

きていると聞いている。また、小平市長も用水路の活用に力を入れると言っていた。過去にも議論されていると思うが、昨今の状況を含めて、緑化推進という観点から議論できればと考える。

市の東側の用水路にほとんど水が通っていない。東部にある全ての用水路に水を通すのは難しいと思うが、どれか1つ、例えば鈴木用水などに絞って水を通すなど考えてみてはどうか。

#### **委員長**

J Rから通水した水量などは把握できるのか。

#### **事務局**

J Rからの水について、西恋ヶ窪立坑から玉川上水立坑にポンプで圧送し、そこから新堀用水へ流すという計画で進めている。西恋ヶ窪立坑から現在、国分寺の姿見の池に流しており、余剰水を小平へ放流し、放流量は1日最大約3,000トンを予定している。しかし、放流量は季節を通じて一定ではないため、実際に放流しないと分からない状況である。

#### **委員長**

小川用水と新堀用水に流している年間の水量の実績をJ Rから報告してもらってほしい。供給量などわかれば降雨量との関係などを調べて議論ができる。もし出ていないのであれば、そういったデータを出すようにということを報告書で出していきたい。

用水路の活用状況は現状約70%だが、それを75%になどできるといいと考える。

他に意見はあるか。

#### **委員**

事務局に聞きたいが、新府中街道が通った場合、中央公園の緑はどうなるのか。また、玉川上水を通す際は橋をかけるのか。橋をかけた場合、なくなった緑地帯の分を、他の場所で担保されたりするのか。

#### **事務局**

東京都の計画において橋を架けるとしている。また、本線と側道との間に緩衝帯を設けて、そこに緑を確保する計画であると聞いている。

#### **委員長**

なくなってしまう緑を、他の場所で、どのように復元するかといったのはいい視点かと思う。提言のタイミングとしてもよいと思う。東京都の計画であるが、緑化推進委員会として市へ提言を行って、東京都との話し合いに活用してもらえればと思う。

他に意見はあるか。

## 委員

鎌倉公園や鷹の台公園を整備すると話が出ている。その公園内で、市民の意見など取り入れて緑を新しく作ることが重要だと思う。また、小平市におけるブリヂストンの面積が大きいため、そこでの緑の広場などが重要になってくるのではと思っている。これら状況等を事務局に伺いたい。

## 事務局

鎌倉公園の整備は市で検討している。昨年度はワークショップ、今年度はオープンハウスを実施し、どういった方法で整備していくかをお示しし、市民から意見をいただいている。

都市計画において鎌倉公園として決定しており、現在は農地を中心とした区域であるため、小平の特徴である農地を保全できるような考えを持ちながら、農に親しんでもらえるようにというコンセプトで現在、検討している。

## 委員長

次回、市民にお示しした素案のようなものを見せていただきたい。そこから、緑化推進委員としての検討課題など見つけられるかもしれない。

鷹の台公園についてはどうか。

## 事務局

鷹の台公園について、都市計画において鷹の台公園として決定している区域となる。小平市土地開発公社が用地を取得している状況であるため、市民から意見を伺い整備を進めていく予定である。

## 委員長

それぞれの公園はどれくらいの広さか。また、整備のタイミングはいつになるのか。

## 事務局

都市計画では鎌倉公園については約2.9ha、鷹の台公園は約1.9haである。

鎌倉公園については、具体的な方針や方向性を検討している段階であり、来年度以降、事業化が決定した段階で進められればと考えている。整備面積も広く、現時点では、市が当該区域を所有はしておらず、土地の所有者の方の住宅や農地がある状況のため、段階的に整備を進めていきたいと考えている。

鷹の台公園については、整備に関する検討は進んでいないが、整備予定の区域は小平市土地開発公社が所有している状況である。

また、ブリヂストンにおいては、現在、大きな整備をしている状況のようである。おそら

く、新たな緑も創出されると考えている。

## 委員

鷹の台公園について、整備予定地は水車通りに面しているため、第14期緑化推進委員会における水車を作ってみてはどうか。水車通りという名前は、昔、実際に水車があったからという経緯があるが現在はなく、その経緯を知らない人もいる。公園において、実際に水が流れていなくとも、水車通りに面して水車があれば素敵であり、子どもの勉強にもなる。

## 委員長

ブリヂストンの緑について、民間企業であるため、緑化推進委員会として何かを提言するというのはなかなか難しいかと考えるが、接点があれば話がしてみたいと思う。

その他、何かないか。

## 委員

街の中に宅地開発の際に整備した小さな公園がたくさんある。しかし、個人的にはどの公園も美しいとは言いがたい形で放置されている状況であると思う。市として、これらの公園をどうしていくということは考えているのか。

## 事務局

街中にある小さな公園は提供公園と呼んでいる。現在の条例において、3,000㎡以上の開発を行う場合には、そのうちの6%を公園として整備し、市に提供してもらうことになっていることからそう呼んでいる。小平市には農地がたくさんあり、それが相続等により売却されると開発され、そのうちの6%の提供公園が市に提供され、公園の数が増え続けている状況である。それに伴い、管理が大変になってきている状況があり、市として課題ととらえている。

コロナ禍において、在宅の方が増えたことにより、今まで利用されていなかった公園が利用されるようになったという状況もある。そこも含めて検討課題であると考えている。

## 委員長

データとして、提供公園と整備公園を分類し、何園あるか、どれくらいの面積かが知りたい。それを確認した上で、小さな公園をどのように活用できるか検討していきたい。このデータ分類を行う上で、同じ提供公園であるが性質が違う気がするため、マンションの提供公園は別で集計した方がよいと思う。

他に意見はあるか。

## 委員

青梅街道に面した生垣がなくなっている。一方で、第一小や第十二小はブロック塀が

生垣が変わったことについて、粋な計らいであると感じた。

市として、学校設備のブロック塀を生垣に変更するという方針があるのか。

#### **事務局**

大阪の地震を契機に、公共施設を点検し、危険な塀について、生垣などの別のものへの変更をすぐに対応したと記憶している。

#### **委員長**

小平において、狭隘道路でブロック塀が避難する際に倒れたら危険な箇所など調べたことはあるか。

#### **事務局**

2年前の地震の際に、担当部署が調査は行っているとは思う。しかし、データ化などしているかは不明である。

#### **委員長**

道路自体が狭くなくとも車道と接している歩道が狭い箇所で危険なブロック塀などあれば、早急に対応しなくてはならないものであると思う。そういった箇所のデータがあれば見せていただいて説明いただきたい。それをもとに検証していきたい。

本日はここまでとし、次回に検討課題を再度、議論できればと思う。

以上